

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年6月23日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年5月22日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア州立大学フラトン校 (日本語名) California State University of Fullerton(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月下旬～5 月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	41,408
創立年	1957

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (米国ドル)	日本円	備考
授業料	\$10,000	約 170 万円	
宿舍費	\$12,567	約 200 万円	秋学期は寮(\$7,767)、春学期はホームステイ(\$800/月)
食費	\$2,696	約 45 万円	秋学期は寮の 5-day Meal Plan、春学期は自炊
図書費	\$190	約 3 万円	
学用品費		0 円	
携帯・インターネット費	\$ 450	約 7 万円	アメスマを使用しました。
現地交通費		0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$1,877	約 30 万円	旅行などに行ったため。
被服費	\$60	約 1 万円	
医療費	\$20	約 3000 円	
保険費	\$2,315	約 37 万円	形態: 明治(12 万円)CUSF × 2(\$800 × 2)
渡航旅費	\$3,754	約 60 万円	旅行 × 2、日本帰国 × 2
ビザ申請費	\$312	約 5 万円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	\$34,934	約 558 万 3000 円	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: ホームステイの近くの Urgent Care)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

留学先大学からのメールや米国大使館からのメール

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットが強く快適だった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行口座を開設して、学費などの支払いはそこから行っていたが、主に使用していたのはクレジットカードだった。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

文房具や生活用品(コロコロなど)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

日本の銀行から現地で開設した銀行に送金してそこから支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Mass Communication of Modern Society	現代のマス・コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	Fall2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Elise Assaf
授業内容	現代のマスメディアに関して学ぶ。
試験・課題等	課題は週に一回の授業中のコメントと週に一回のミニテスト(オンライン)。試験は中間と期末があり、オンライン上でのテストだった。
感想を自由記入	講義内容が面白いかつ簡単でわかりやすく、課題も比較的軽く簡単だった。先生も優しい。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Christianity	キリスト教入門
科目設置学部・研究科	Human Communication
履修期間	Fall2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Janet Bregar
授業内容	キリスト教の基礎を学ぶ。
試験・課題等	毎週聖書の一部を読んでレポートを書く課題があった。 中間と期末はレポートで、フィールドワークもあり、実際に教会に行った様子をレポートする課題もあった。

感想を自由記入	本来取りたかった授業が取れず、急遽席数に余裕があったこの授業を取っただけだった(自身はキリスト教ではない)が、キリスト教の考えやそれに基づく文化が学ぶことができてよかった。また、毎週読み物とレポートがあるため Reading と Writing スキルが上がったと思う。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)	
Modern Japan	近現代日本	
科目設置学部・研究科	Human Communication	
履修期間	Fall2023	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	Kazuha Watanabe	
授業内容	江戸時代以降の日本の歴史を学ぶ。	
試験・課題等	週に一回軽いミニテストがあった。中間と期末試験は50問あった。また、期末にはプレゼンテーションもあった。	
感想を自由記入	小学校で習う日本史レベル。日本に興味のある現地の学生たちが多く、その子たちと仲良くなれたのは大きかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)	
Digital Reporting and Production	デジタルのレポートと制作	
科目設置学部・研究科	Communication	
履修期間	Fall2023	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	Penchan Phoborisut	
授業内容	効果的な撮影の方法と、Adobe Premire Pro を使用した動画の編集方法を学ぶ。	
試験・課題等	毎週一回ミニテストがあった。また、月に一回ほど大きな課題の提出があった。	
感想を自由記入	実際に本格的なカメラを利用して撮影したり、Adobe Premire Pro を使用して編集方法を学んだり、実践的で日本にはないような授業でとても楽しかった。この留学で取った授業の中で一番好きな授業だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Film Music	映画音楽
科目設置学部・研究科	Music
履修期間	Spring2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(フルオンライン)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Heather Moore
授業内容	映画が登場した以降の全ての映画音楽史を学ぶ。
試験・課題等	毎回の授業の後のコメントと月に一回のミニテスト。 中間は好きな映画の音楽に関する考察のプレゼンテーションの録画提出、期末は試験がオンラインであった。
感想を自由記入	先生が面白く優しい。また、知っている映画の音楽がどんな特徴があるのかなどを知れてとても興味深い授業だった。ただ、フルオンラインなため他の学生との交流は全くと言っていいほどなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Digital Foundation	デジタルの基礎
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	Spring2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(対面ラボ週一回とオンライン週一回)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Jessica Vega-Centeno
授業内容	Adobe Illustrator, Photoshop, Premiere Pro の基礎を学ぶ。
試験・課題等	上記のツールを利用して4回ほどの大きな課題を出す。
感想を自由記入	教授が酷く、授業をしない人で、毎週一回あるはずの対面のラボは学期中一度しか開かれなかった。オンラインで授業を開くといった際もオンライン上に現れず、そのことをメールで問い合わせると逆に教授の都合を考えると文句を言われた。そのため、基本的に自分で Adobe に関して学ばなければならない、単位の取得に強い不安があった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Social Relation and Emotions	社会的関係と感情
科目設置学部・研究科	Society
履修期間	Spring2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Tisha Rivera
授業内容	人間関係で起こる衝突の原因やその解決策、また、感情の原因や解決策を学ぶ。
試験・課題等	中間試験と期末試験があった。また、期末では教科書のトピックに関するプレゼンテーションがあった。
感想を自由記入	日常に密接したトピックでとても面白かった。先生は一見厳しくみえるが、とても優しくやれば評価をしてくれる先生だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Tutorial	チュートリアル
科目設置学部・研究科	Modern Language and Literature
履修期間	Spring2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Satoko Kakihara
授業内容	日本語クラスのチューターを行う。基本的には生徒の課題を見たり、質問を受け付けたりする。
試験・課題等	生徒と同じ課題を行った。また、2回ほど日本についてのプレゼンテーションを行った。
感想を自由記入	生徒と一緒に日本語に関する講義を聞くので退屈に感じてしまう人もいるかもしれないが、日本に興味を持っている学生と関われたのはとても貴重だった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中に大学三年生になる方はポスطنキャリアフォーラムへの参加をお勧めします。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	受験
	4月～7月	明治大学入学、留学に向けて TOEFL Preparation を履修
	8月～9月	TOEFL の勉強
	10月～12月	学内プログラム応募、学内選考に合格
留学開始年	1月～3月	留学先大学へ出願、合格
	4月～7月	ビザ取得や航空券購入
	8月～9月	渡航、秋学期開始
	10月～12月	留学中 中間試験、期末試験の勉強
留学/帰国年	1月～3月	春学期開始
	4月～7月	留学中 中間試験、期末試験の勉強 帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

まず、留学を志している後輩の皆さんに向けて、私がこの留学先を選んだ理由は主に三つあります。一つめは、自分が学びたいと思っていたメディア学(主に Communication Major の授業)の授業が豊富だったから。そして二つめは、アメリカカリフォルニア州という多様な人種の方が生活している地域において、あらゆる文化を持つ人と交流して彼らの価値観を得たかったから。そして最後に、明治からの留学生在が少ない大学に行って英語力を鍛えたかったからです。最近では円安もひどく、金銭的な理由で留学を諦めてしまう方もいるかもしれません。私もそれが理由で留学することを迷っていました。しかし、明治大学の外国留学奨励助成金や、JASSO からの奨学金を活用することで自分の夢だった留学をすることができ、本当にかげがえのない貴重な経験をすることができたので、皆さんにはぜひ金銭的な心配をすることなく留学をしてほしいです。

そして留学が決まった学生の皆さんへ、今はいろいろな不安を抱えていると思いますが、フロン校には本当に良い人しかいません。そこは安心してください。留学中に友達ができるか不安な方は、ぜひ留学生のガイダンスで同じアジア(韓国など)から留学に来てそうな生徒に話しかけること、そして留学生クラブ(ISC: International Student Club)のイベントに積極的に顔を出すことをしてみてください。また、現地の友達が欲しい人には Buddy Program という現地の学生とバディになって友達になれるプログラムに参加することを強くおすすめします。(留学生ガイダンスで案内されるか、渡航前にメールが来ると思います。)私は上記の方法で現地でたくさんの友達を作ることができました。また、授業に関してですが、学期開始一週間の履修登録期間は本当に大事です。ここできちんと登録することができないと、自分の取りたい授業が取れなかったということになってしまいます。また、履修の際は現地の授業評価サイト「Rate My Professor」で取りたい授業の教授名を検索してみてください。そこで自分が取りたい授業の評判が一目でわかります。

色々書いてしまいましたが、私は留学をして本当に良かったと思っています。英語力の向上だけでなく、現地の友達やさまざまな国からきた留学生たちと友達になれたことは一生ものの価値がありました。お金をかけた価値も確実にあったと思います。留学を迷ってる皆さんも、留学が決まった皆さんも、夢に向かってこれから頑張ってください。